

おうち いっせい  
**大内 一晟さん****大学学部留学****2021年3月**

私立茨城キリスト教学園高等学校 卒業

**2021年11月**Monash University Malaysia  
Monash English Bridging  
course**2022年2月**Monash University Malaysia  
Bachelor of Arts and Social  
Studies**2024年11月**Monash University Malaysia  
卒業見込み**卒業後**

卒業後は日本に帰国し、就職。



主催した就活イベントの一枚（最前列向かって左から6番目）

**トロピカルロマン****マレーシア留学へ!!**

私が留学を決意した理由は大きく分けて3つです。

1つ目は、高校在学時に体験した1か月間のアメリカへの語学留学です。この留学を通して私は、日本では得られない経験があることを知りました。こうした経験をより長くすべく留学を決意しました。2つ目は、物価や日本からの旅費がアメリカと比べて安かったことです。両親の年収から考えてマレーシアが秀でていました。3つ目は、父の親友が長期滞在しているためです。不測の事態が発生しても頼る先が存在したのです。以上の3点を以て私はマレーシア留学を決意しました。

**大学選び**

マレーシアの中の数ある学校の中でモナシュ大学を選んだ理由は、本校がオーストラリアにある影響で他校と比べて簡単にオーストラリアへ留学することができたためです。留学前の準備は、エージェントに依頼して行いましたが、苦労したのは、必要書類や、支払いの請求が日本のものと比べてかなり散発的に行われる点です。日本とは違った文化をマレーシアが持つ関係上、マレーシアの留学手続きは不測の事態が多いです。最初はストレスがすごいです。相手の時間感覚が自分のものとは全く違うことを覚えて、心に余裕を持ちましょう。

**マレーシアでのあれこれ**

日本の高校までの学生生活との相違点として、授業中はディスカッションをメインに進み、板書などは特にしません。必要な単語などは事前に渡される資料を読む必要があ



夜のクアラルンプール

り、授業を楽しむためにも予習は必須です。試験は主にオンラインで行い、選択問題がほとんどです。代わりにレポートなどの課題が多く、授業への深い理解が求められます。生活環境としては、暑いの一言につきます。一方で室内は冷房が効いていて温度差で体調を崩すことも少なくありません。カーディガンなどの上着を用意すると思います。苦労したこととしては、現地の料理のほとんどが辛いことです。全く辛い食べ物に耐性のなかった私は、毎日口にするもの全てが辛いことに絶望したのを覚えています。しかし、住めば都です。慣ればおいしいです。

**卒業してから**

留学後の進路として私は現在、日本国内での就職を考えています。これは主に、自分の家族を含めた近い人々の多くが日本にいるためです。以前、母方の祖父が亡くなった際、帰国できず、近くにいらなかったことを辛く感じました。そのため、いつでもすぐに駆けつけられるよう国内での就職を決意しました。

**留学で得たもの**

私が留学で得たものは、日本では触れることの少ない、日本以外の文化へ触れる機会です。あまり日本で触れることのない、宗教や政治的な思想に、多文化、多民族国家であるマレーシアでは簡単に触れることができます。これを利用して、私は人間関係の構築に並行して、新たな知識を得ることができました。

**マレーシアを目指すあなたへ**

これからマレーシアに留学したい人へのアドバイスはたった1つです。自分の感覚を基準にしないことです。文化、宗教など違った感覚、主義、主張にあふれているのがマレーシアです。日本人の感覚を基準に他人を評価することは、自分と違うものを受け入れにくくなり、ストレスや人間関係を狭めることにつながります。



旧正月、寺院にて

**私の英語勉強法****「留学前の対策」**

私の語学勉強法は、ひたすら話すことです。私は、留学を決意してからずっと学校の英語の先生をはじめとした英語を話せる人に積極的に話しかけ、経験を積むことで、自身の語学力を身につけました。同じ単語や文法を何回も書くことよりもこちらの方が私にとって効果的で、かつとても楽しいものでした。アドバイスするのであれば、自分が楽しく継続できる方法を模索してください。継続は上達への第一歩です。



なか がわ みき ひさ  
**中川 幹久 さん**

**語学留学**

**2015年3月**  
関西学院大学 経済学部 卒業

**2015年4月**  
日本生命保険相互会社 入社  
支社、人事部門、IT部門等

**2023年4月**  
フィリピン CPILS  
ESL (語学コース)

**2023年7月**  
フィリピン CPILS  
海外インターンシップ

**2024年4月**  
カナダ Greystone College  
デジタルマーケティングコース  
COOP留学

**卒業後**

卒業後の予定は未定です。笑 ただ前職でもデジタルマーケティングの仕事をしており、更にそのスキルを日本だけのスケールに捉われずに伸ばさせたいという思いと、海外での業務経験をできるだけ若いうちに、積みたいとCOOPを選択しました。培ったマーケティングスキルを活かして、将来的にどの国や地域で働くかはまだ決めてないですが、とにかく今目の前の事に集中して頑張りたいと思っています！



インターンメンバーで (前列左)

**一番若い“今”だからこそ、できること**

**なぜ英語が必要なんだっけ？**

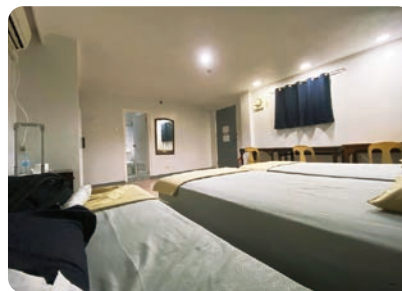
将来的な人生設計を見直す中で、一年以上かけて深い自己分析をしてきて、「英語でコミュニケーションをとる事」は、最低限身に付けておくべきスキルであると理解したからです。恥ずかしながら、29歳になるまで英語の必要性は全く感じないで生きてきたため、英語に全く興味もなく、学生時代は、ただテストで良い点を取るために勉強するといった有様でしたので (笑)

**コスパ高！英語初心者には一択！**

フィリピンを選んだ理由は、2点です。1点目はネイティブの国への留学に比べて、留学費用が安い点です。留学費用が安いのに、マンツーマン授業のコマ数が多いというのが魅力的でした。2点目は、フィリピンで最初に英語を学ぶことが、今の自分のレベルには合っているかなと思ったからです。大学卒業以降、英語の勉強は全くしてこなかったし、そもそも英語に苦手意識を持っていた私にとって、英語初心者向けと謳われていたフィリピンは私に適していると考えました。

**Cockroachとの共同生活**

金曜日を除く平日の授業は自習も含み、1日約10時間という過密スケジュール。宿泊部屋は、シェアルームに3人(日本人大学生、台湾人)で過ごしていました。これほどの長時間勉強、3人一つの部屋で過ごすという事は初めてでしたが、不思議な



ゴキブリと闘った3人部屋

ことに、留学前に「なぜ英語を勉強する必要があるのか」を自分の中で言語化していたため、全く苦ではありませんでした。ただ一点慣れなかったのは、ゴキブリです。日本と異なりサイズも一回り大きく、当たり前のように飛び回ります。部屋でゴキブリを見つけた時の対処ルールを、留学当初にルームメイトとディスカッションした時、英語で自分の細かいニュアンスを伝えることは難しいと感じました。結果的に、cockroach(=ゴキブリ)という単語は体に身に沁み、今後も忘れることはないでしょう。

**海外での就業に向けて**

留学後は、カナダのカレッジ(デジタルマーケティング)に入学。6か月の座学の後、現地企業でインターンシップとして働きます。デジタルマーケティングの仕事は、日本でもかなり経験しているのですが、若いうちに“海外”での就業経験を積みたいと、選択しました。(もう若くはないですが、“今”がいちばん若いのです。笑)

**英語は会話する為の手段。ただの言語だもん**

良くも悪くもですが、「英語はただのコミュニケーションツールである」という事を再認識しました。確かに基本的な単語や文法知識は必要ですが、所詮言語なので。小さいミスにとらわれず「伝わって、ある程度相手が何を言っているか分かればいいや」と思う事も大事だと留学を経て思うようになりました。

**誰しも、“今”その時が一番若い**

「日本人以外と直接コミュニケーションがとれる」というのは、人生を間違いなくプラスにしてくれると思います。翻訳機の精度が上がったとしても、直接会話する事で、表情や声量から気持ちを汲めるし、笑いだってとれます。(翻訳機でボケられても…と思うので。笑) 迷ったら、“今”がいちばん若い精神で、挑戦してみてください！



フィリピンの大自然を満喫

**私の英語勉強法**

**「学ぶ目的を言語化しよう」**

基本的な単語、文法のやり直しをして留学に臨みましたが、全く準備不足でした。(笑) より高いレベルまで上げてから、留学時に“英語を使う練習”をすると、習得効率は格段に良いと感じます。一方で、“完璧な準備”には上限がありません。自分で決めた準備はやり切りつつ、「なぜ留学なのか？なぜ英語を勉強するのか？」を自分の中で言語化してから、留学に行く事の方がよほど重要だと思います！

